

CEO就任 ご挨拶

村岡 隆史

経営共創基盤 (IGPI) 代表取締役 CEO



読者の皆さんの中には、経営共創基盤 (IGPI) は富山和彦がオーナーであり生涯 CEO を務めるものと思っていた方もいるかもしれません。誤りです。私たちの会社はパートナーシップ制であり、現在 17 名のパートナーが共同で会社を所有し経営責任を負う組織体です。また、今後も半永久的に組織が存続することを前提とした経営承継の仕組みを構築しています。今回、創業時以来グループの発展を牽引してきた富山が CEO 職を辞し、私とその任を引き継ぐこととしました。皆さま宜しくお願い致します。

振り返れば、2007 年に IGPI を創業する際、この国の経済再生・発展に何が欠けているのか？ 私たちは何を貢献出来るのか？ 議論を尽くした結果の答えが「経営 (マネジメント)」でした。日本には資金は潤沢にある、技術もある、戦略についても方法論は整っている。それでもこの国の多くの企業がグローバル市場での地位を年々落としている。また、国内市場での生産性は停滞している。その根源的な理由は何なのか？ 「経営力」が足りていないのでは無いか。その「経営力」を「共創型」で、また、我々

が最前線に先兵として飛び込み経営改革を支援することによって貢献する。さらにそのプラットフォームを、国境を越えてグローバルにも発信できる組織を目指そう。そんな想いで IGPI を設立しました。

実際には、創業直後にリーマンショックが到来し、また、2011 年には東日本大震災の被害に見舞われ経済が混乱する中で、私たちの創業理念とその実行力が問われる機会に多数直面することになりました。多くのクライアント企業に対して「共創型」「現場ハンズオン型」で企業再生や構造改革の局面で経営支援をすると共に、みちのりホールディングスを中心として投資・経営型のビジネスモデルでも着実に成果を出すことが出来ました。同時にグローバル経済の持続的な成長の下で日本企業の海外事業展開支援を拡大するために、上海・シンガポールを中心としたアジアでも日本同様の「共創型」「ハンズオン型」のサービスが可能となるよう業容を拡大して来ました。製造業についてはものづくり戦略カンパニーとして戦略からものづくりの現場改革まで一貫通貫型で支援が出来る体制を整えました。また、今

や経営に不可欠なツールとなった AI やビッグデータ活用の分野においても、東京大学松尾研究室との提携も踏まえてクライアント企業のニーズに応えられるサービスを他社に先駆けて立上げ提供して参りました。

これからも企業経営を取り巻く環境の不透明性と変化のスピードは増す一方でしょう。DX や技術革新の波、地政学リスクの顕在化、新型コロナウイルスを含めたサステナビリティへの対応など課題は山積です。G 型企業・L 型企業を問わず、製造業・サービス業を問わず、企業の規模も問わずに、ビジネスモデルの変革が日々求められています。ただ、モノづくりのサービス化にしてもリカーリング化にしても、ビジネスモデル変革の実現には旧来型の会社組織が足かせになっています。これには旧来型の組織を抜本的に作り直し、組織能力を抜本的に強化する他ありません。コーポレートトランスフォーメーション (CX) です。一方で多くの企業で現実に行き始めていることは、CX をするにも人材が足りない。人材が不在のため改革できず、改革できないため人材が集まらない。かかるジレンマに陥っている企業が多いのも実態ですが、このような負の循環を断ち切ることはマネジメントの決断と実行力によってのみ成し得るものであり、それだけマネジメントの役割と責任が大きくなっているものと日々体感しています。

マネジメントにとっての舵取りの難しさと責任の重さが一段と高まっているこの 2020 年代に、その重荷を背負った皆さんと共創し、共に未来を切り開いていきたい。デジタルだけでは割り切れない答えに共に挑戦していきたい。「IGPI とは何をする会社なのか？」これもよく聞かれる質問です。グローバル大企業の戦略立案コンサルから、老舗オーナー企業の事業承継相談や遺言支援までやっている。バスや空港といった地方公共交通機関の投資・経営から北欧でのベンチャー投資まで活発にやっている。「IGPI とはいったい何者なのか？」私たちはこれら全てのケースに共通するもの、企業「経営」というものを

徹底的に科学し哲学し普遍的解を追求します。さらに普遍的な答えに止まること無く、個別企業の「経営」に対して最善の固有解を提供して参ります。日々刻々と変化する「経営」課題に対して、最適なサービスを提供し続けるプロフェッショナル集団でありたい。最先端のデジタル技術も徹底的に活用します。その一方で、デジタルでは割り切れないアナログ要素も併せて昇華します。私たちのビジネスモデルの軸は、コンサルティングと投資の両輪であることはこれからも変わりませんが、その双方で問題解決力のアップを推進して参ります。これは IGPI グループにとっての「両利きの経営」です。私たちにとって成熟事業といえる企業再生コンサルティング、大企業構造改革・CI 支援、交通含む社会インフラ型事業向けの投資・経営事業といった分野においては一層の「深化」を推進します。同時に、よりデジタル、よりグローバルを目指して「探索」を積極的に行います。「両利きの経営」を実践することで、クライアント企業、投資先、株主を含めた全てのステークホルダーの負託に応えられる組織として成長していきたいと考えています。

創業 13 年で私たちは単体 200 名強、グループ連結 5000 名強の組織に成長することが出来ました。ただ、IGPI は規模拡大を目的とする組織ではありません。企業「経営」上の本質的課題解決に対してソリューションを提供し続ける唯一無二の集団。そんな組織であり続けたいと考えています。これからも宜しくお願い致します。

村岡 隆史 (むらおか・たかし)

三和銀行にて、プロジェクトファイナンス業務、M&A 業務に従事。モルガンスタンレー証券を経て、産業再生機構に参画。三井鉱山、ミサワホーム、ミヤノ、ダイエー等の案件を統括。IGPI 設立後は、数多くの企業の構造改革や事業再生に関わる他、中国・アジア諸国での M&A・投資、成長戦略立案プロジェクトを多数統括。

金融庁参与、INCJ 社外取締役、新日本工機社外取締役、池貝社外取締役

東京大学農学部卒、UCLA 経営学修士 (MBA)